

平成30年7月の豪雨に伴い発生したがけ崩れについて、再度災害防止のため、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業の実施に当たり、工期短縮を可能とする斜面安全掘削工法を採用しました。

当該斜面の作業面は最急勾配が51度あり、不安定で危険な急勾配での作業においても安全に掘削が可能な機械施工を採用することで、人力作業に比べ、施工期間を**約20日間短縮**しました。

災害発生日：平成30年7月7日  
 対策箇所：広島県府中市木野山町角目  
 対策面積：約360㎡  
 採用技術：ワイヤーとウインチを用いた登坂システムにより掘削機械を吊り上げ斜面を掘削  
 チルト機能により運転席の水平を保持  
 新SSD工法(NETIS《CG-2000014A》)

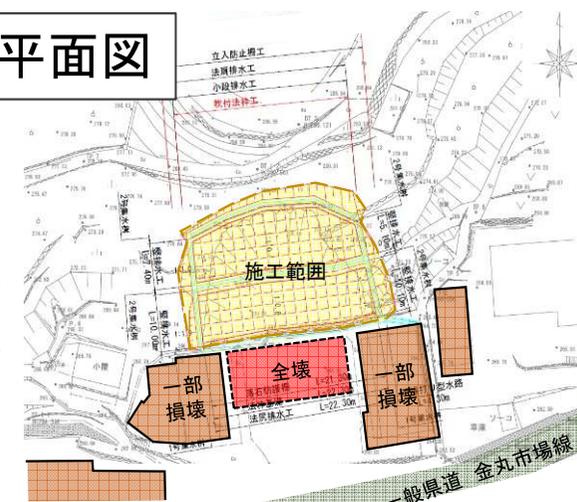
※ 適用に当たっては、建設機械の搬入が可能であること、斜面上部のアンカーや構造物などにワイヤーロープを確実に固定できることなどの現場条件を満たすことが必要

位置図



広島県府中市木野山町  
（角目4地区）

平面図



## 斜面掘削技術の方向性

- リモコン操作による無人化機械施工
- ICT建設機械を組み合わせたICT土工



がけ崩れによる被害の状況



工事名	角目4地区 斜面掘削工事
工種	斜面掘削工
測点	A-A付近
法面整形状況	
日付	



専用の建設機械による  
斜面の掘削状況



掘削後の斜面全景